

# あなたも本願寺へお参りませんか!

浄光寺では門信徒の皆さんと、毎年2回(1月・10月)本願寺にお参り致します。1月は本願寺の報恩講参拝、そして10月は本願寺念仏奉仕団です。ご門徒のご遺骨(分骨)が納められてある大谷本廟にもお参りします。



大谷本廟にて

今年も1月13日・14日と1泊2日の日程で本願寺御正忌報恩講に参拝しました。右の写真は大谷本廟です。

## 本願寺念仏奉仕団只今募集中

とき 十月二日(木)～三日(金)  
旅行費用 三万七千円  
募集人員 三十名  
心のふるさと本願寺へお参りしましょう。ご本山の清掃奉仕を通して法縁を深めましょう。定員になり次第締め切ります。離郷の方も是非ご参加ください。お問い合わせは浄光寺まで。



帰敬式のあと記念写真

毎朝お勤めの後、帰敬式があります。今回は森脇悦朗さん・田中敏枝さん・森崎久美子さんの3名が受式されました。

帰敬式は「おかみそり」ともいい、私たち一人ひとりが、阿弥陀如来様の前で「み教えを大切に、この人生を精一杯生き抜く」ことを誓う、大切な儀式です。「おかみそり」を受けると法名が授けられます。



米子市 開藤得朗さん宅  
平成17年9月脳内出血を患い半年間鳥取医大に入院されていましたが、その後元気に退院され、現在は皆生温泉病院で週3回のリハビリ治療をしております。

昨年十一月より、ご門徒一軒一軒のご家庭で報恩講を迎えています。どのご家庭も、精いっぱいのお迎えをされます。そのお気持がお仏壇のお荘厳等を通して伝わってきます。

# 報恩講の私



神主 坂本 清さん宅



都野津 下田善吉さん宅



温泉津 森崎提璋さん宅



嘉久志 田中禧伴さん宅

## 特集

### お同行訪問

# ごんぱにちは

(8)

お寺の各分野でお世話下さる方や、よくお寺にお参りされる方を訪ねて、質問に答えていただきました。

### 尊いご縁



都野津町 清水スツア子さん (昭和8年生れ)

#### お寺参りのきっかけ

お念仏を喜びながら一生懸命お寺のお世話させて頂いていた父(清水与一)が亡くなり、悲しい日々を送っていました。そんな折、役員さんから仏教婦人会のお誘いを頂きました。

今まで余りお寺にご縁が無かったのですが、「お父さんが喜ばれるから」と、何もわからない私の手を取り親切にお育て下さいました。お陰さまで阿弥陀様に出席させていただき、聴聞の大切さをわかって頂くことが出来ました。役員のみなさまのお陰です。感謝申し上げます。

#### あなたの趣味

コーラス：声を出して元気づくり

旅行：楽しい思い出を沢山 旅行：楽しい思い出を沢山 旅行：楽しい思い出を沢山

#### 好きな言葉

おかげさまで、ありがとうございます。一日一日を大切に...そう云えることは幸せです。

#### 一番嬉しかったこと

お陰さまで年老いた主人も総代の会長として、二人揃って元気で亡き父の後をつぎ、み仏さまのお手伝いをさせて頂くことは有難いことです。又二人の娘たち夫婦も、私たちの良き支えとなってくれていきます。今春、若くして亡くなった母の五十回忌に遇わせていただきました。み仏さまの慈しみに照らされ、声高らかに阿弥陀経をお唱えさせて頂き、感謝で胸が一杯でした。おかげさまで、合掌

#### お念仏の友にひとこと

お聴聞は何より大切です。み仏様の尊いご縁に深く感謝し、皆様と一緒に歩むの輪を拓けて参りましょう。その他何でも自由に

#### 毎日朝夕お仏壇に



嘉久志町 田中知治さん (昭和2年生れ)

#### お寺参りのきっかけ

母の代行。お寺参りがそれとなく身につく。あなたの趣味 ゴルフ・観世流謡曲・油絵

#### 一番嬉しかったこと

本願寺念仏奉仕、浄光寺団体参拝旅行(大谷廟お参り)に夫婦で参加出来たこと。みなさんと一緒に汗をかき、家族的な雰囲気にも包まれました。

#### お念仏の友にひとこと

毎日朝夕、食事の前にお仏壇にお参りします。二人で交代に、「なんまんだぶつ」。心のよりどころにしています。その他何でも自由に

#### 念ずれば花開く



嘉久志町 田中襄子さん (昭和)

#### お寺参りのきっかけ

義母がお寺のお世話をしておりましたので、時々一緒に参りさせて頂きました。その後母に代わってお世話させて頂き、ご縁を頂くようになった。

#### あなたの趣味

コーラス 花を愛でる 編み物

#### 好きな言葉

念ずれば花ひらく

#### 一番嬉しかったこと

そうですね、すぐ感謝する方なので、一番と言わず、人様との出会いによりその輪の広がりを嬉しく思います。

#### お念仏の友にひとこと

お聴聞をしてもなかなか身につかない私ですが、お参りすることのよさ(こび)は、声に出してお念仏が称えられるようになったことです。身体に気をつけて、一緒に念仏をよることはさせて頂き、合掌

#### その他何でも自由に

本願寺より出版の月刊誌「大乘」は読み易く安らぎます。よく他の寺院のご住職様と若坊守様が写真と記事で紹介されています。いつか浄光寺のお二人様も大乗にお目見えするのではと、フトそんなことを思いました。

